

「セクシャル・マイノリティーの子どもたちの現状について」

1月28日 プラウド岡山副代表の金平こんぺいさんを招いて、当事者のお話を聞く学習会を開催しました。思春期を過ごす学校でのジェンダー規範や大人の無理解により、深い悩みを抱える子どもが多いという貴重なお話でした。

ご自身を FtM（性同一性障害：女性→男性）と言われる金平さんは、小学生の頃、女子扱いされることや同性の女の子を好きだと言って怒られることに変だなど感じながらも、うまく言葉にできない怒りのようなものを感じていました。思春期には体の成長が受け入れられず悩みは深刻に。その頃ネットの掲示板で「性同一性障害」という言葉を知ります。しかし、親には理解してもらえず、信頼したスクールカウンセラーにも秘密を漏らされたことなどから、自殺願望にもつな갑니다。ご自身の経験から同じように悩む人たちとつながりたいという思いで、活動を始めました。若い世代にヒアリングをすると自殺を考えた事がある人は半分以上いました。

金平さんは、LGBT の子どもたちにとって「ありのままを受け止めてくれる大人の存在」と「正しい知識の情報源」が必要だと言います。しかし、学校の先生や生徒の知識不足や差別意識、不要な男女別が多いことなどが大きな課題と指摘します。

自助グループプラウド岡山として昨年、市の協働事業で当事者への大規模アンケートを実施し、結果を学校に配布しました。当事者の苦しみ声を教育関係者に届けることで少しでも理解の輪が広がる一助になればと期待します。
(文責 田中のぞみ)

「岡山県第4次ウィズプラン」

講師：県民生活部男女共同参画青少年課 課長 有田裕さん
総括副参事 東寛さん
岡山県男女共同参画推進センター 所長 岡崎紀子さん

4月19日、副参事 東さんにウィズプランの概要説明をしていただきました。男女共同参画社会に関する県民意識調査を参考に、3つの「基本目標」と14の「重点目標」をつくり、5年間取り組むことにしているそうです。

基本目標1 「男女共同参画社会の基盤づくり」 働き方を変えることが重要です。そのため庁内3部局が連携し、経営者の意識改革を進めるため、トップセミナー、規模・業種ごとの出前講座などを実施し、参加者には個人単位での「イクボス」になってもらいます。

基本目標2 「男女の人権が尊重される社会の構築」 DV被害が増加し、H25年の相談件数は4,000件を超えました。国においてDVに関する法整備が進められ、DVが顕在化してきています。すべての市町村でDV防止基本計画を策定してもらい、担当部署も明確にするよう働きかけていきます。現在8市町村が計画の策定ができていません（赤磐市 和気町 早島町 矢掛町 美作市 鏡野町 奈義町 西粟倉村）。学習会に参加した女性議員からも促して欲しいとの要請をいただきました。

基本目標3 「男女が共に活躍する社会づくり」 女性が働き続けることのできる環境づくりと子育て中の女性の就職支援に特に力を入れて取り組みます。

以上の説明から県としてのやる気を感じました。県のウィズプランを基に、倉敷市では、「くらしきハーモニープラン」という名で、市の計画書が策定されていることが紹介されました。

(文責 氏平三穂子)